

平成29年度四国ブロック リーダー研究大会報告



期 日：平成29年11月11日(土)～11月12日(日)

場 所：高知県立青少年センター

発表者：高知県リーダー会 会長 関 るい

【テーマ】

「リーダーアクション
～障がい者スポーツを知ってもらうために～」

【テーマ設定理由】

- ・全国リーダー連絡会の協議テーマに沿う内容を話し合うため。
- ・オリンピック、パラリンピックを数年後に控えてリーダーとして出来ることは何かを話し合い、実践に移すため。

◆参加対象

各県リーダー会会員5名以内（中学生以上）

育成担当指導者各県1名

◆参加者（内訳）

	愛媛県	香川県	徳島県	高知県	合計
リーダー	5名	5名	3名	9名	7名
育成担当指導者	1名	1名	1名	1名	3名
合計	6名	6名	4名	0名	10名

◆経費

参加料：無料 交通費：参加者負担

◆運営スタッフの体制・運営方法

開催県事務局及び役員が運営・開催準備

開催県リーダー会会員及び育成担当指導者が運営

◆日程表

1日目：11月11日（土）

13：00 受付

13：30 開会式・オリエンテーション

14：00 アイスブレイク

14：30 『プログラムⅠ』

「ACPを活用したリーダー活動及び指導実践」

講師 中川 泰子 氏

（（公財）高知県スポーツ振興財団）

16：00 『プログラムⅡ』

「各県の取組み報告」

17：30 夕食

18：30 『プログラムⅢ』

「テーマディスカッション」

◆ 日程表

2日目：11月12日（日）

7：00 起床～朝食～退所準備

9：00 『プログラムⅣ』

「発表物作成」

「ディスカッションテーマ発表」

「次年度に向けてのテーマ検討」

11：30 閉会式

12：00 夕食

13：00 解散



◆プログラム概要

1. 「ACPを活用したリーダー活動及び指導実践」

講師：公益財団法人高知県スポーツ振興財団 中川 泰子 氏

実際の指導場面で使われているレクリエーション等をリーダーがインストラクションする形式で実施、聞く講義ではなく実践する講義を展開



2. 各県の取り組み報告

各県のリーダー会活動の報告

- ・ 全体的にACPに関する活動を徐々に広げられてきている。
- ・ 愛媛県は企業と協賛し、ACPブースを設けたスポーツイベントを実施した報告もされた。
- ・ 徳島県は市町村単位で学校行事と並行してACPを広める普及活動を行っている報告があった。
- ・ 他県の動きに対し、規模やどうやって実施したのか？といった質問も出て、普段共有できない内容が確認された。



3. テーマディスカッション

「障がい者スポーツを知ってもらうために」と「リーダー会と学校の両立について」の2テーマを設定したが、全国リーダー連絡会の協議テーマに沿った内容を協議するため「障がい者スポーツを知ってもらうために」を重点的に協議。

4つのグループに分かれ、各グループでの話し合いを行った。

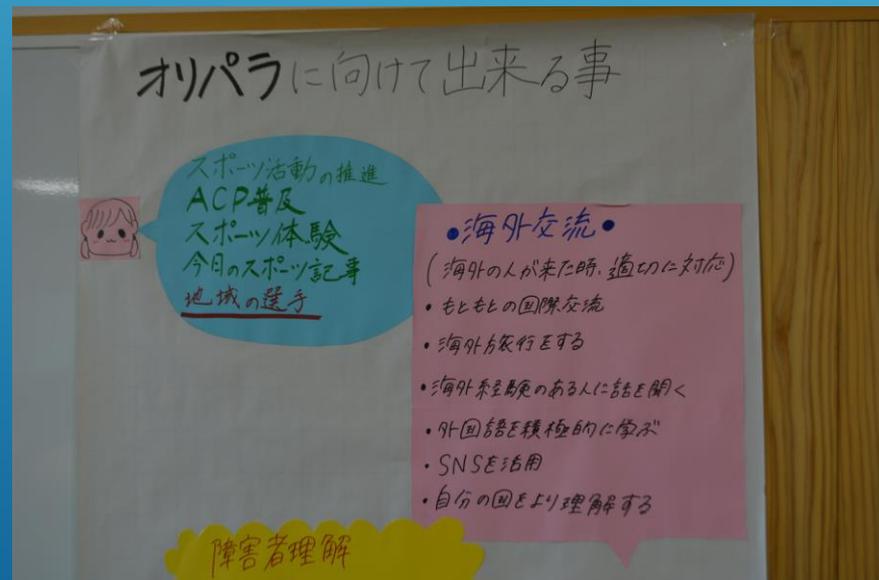
また、協議内容が早くまとまったグループは、発表資料の作成を行った。



4. 「発表物作成」「発表」

各グループの発表、質疑応答を行った後、次年度への取組テーマの検討とその内容の検討・現状で抱える課題のディスカッションを行った。

- ・ 障がい者スポーツの大会等に参加する。
- ・ 体験イベントへの参加。
- ・ 参加した内容の発信（facebook, instagram等）



◆ 【次年度へ向けてのテーマ検討】

「ＡＣＰに障がい者体験等を盛り込んで実践し、
オリパラに向けて経験を基にした知識をつける」

- ・ 大会や研修等への参加を積極的に行う。
- ・ 得た情報を発信する。
- ・ リーダー活動に繋げる（ボランティア、補助スタッフなど）

また、現状の課題として、「スポーツ少年団の認知度の低さ」と「ジュニアリーダースクール以降の活動の場が少ない」が挙げられ、以下の策が出された。

- ・ 認知度向上のため広告媒体を持ち、発信を行う。（SNSやブログなど）
- ・ リーダーの活動母体となるリーダー会専用の単位団を立ち上げる

次年度テーマと現状の課題に対する策は各県が実践し、
次回のリーダー研究大会で再度取組み内容を報告する。

「大会成果まとめ」

四国間でテーマを共有する事で、共通理解が深まった。
次年度の目標が明確になった。

「反省」

講演内容を障がい者スポーツのテーマに合わせた内容にした方がより良かった。

リーダー同士での積極性に欠ける部分があり、アイスブレイクやフィードバックの時間をもう少し取るべきだった。

「前年度からの内容が活かされたところと課題」

市町村や企業にも働きかけ積極的に活動できたところもあり、全体的には活動規模が拡大してきてる。

しかし、四国間での取組内容とリーダー会の体制に差があり、普段より四国間での連絡体制が必要である。

ご清聴ありがとうございました

